



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日
東

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,853	△13.1	28	△92.6	△76	—	△44	—
2019年3月期第3四半期	7,886	3.5	390	39.0	414	83.2	253	209.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △43百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 196百万円(7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△28.57	—
2019年3月期第3四半期	161.62	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,765	3,960	33.7
2019年3月期	12,101	4,066	33.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,960百万円 2019年3月期 4,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,450	△7.7	80	△80.9	△50	—	△40	—	△25.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,581,250株	2019年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	31,167株	2019年3月期	31,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,550,203株	2019年3月期3Q	1,566,509株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P.3「経営成績等の概況（3）今後の見通し」をご覧ください。

なお、中国にて発生しております、新型コロナウイルスが与える当社グループ業績への影響は、現在調査中であり、連結業績予想には反映しておりません

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国は設備投資が低迷したものの好調な個人消費に支えられ底堅く推移しましたが、欧州や新興国においては米中経済摩擦や地政学リスクの影響もあり減速感が続きました。特に中国経済は1992年以来最低の成長率を記録しました。日本経済は、個人消費は消費税増税後の一時的な落込みはあったもののおおむね底堅く推移しましたが、製造業において輸出や生産の減少が続き総じて停滞感が見られました。当社グループの属する電子部品業界におきましては、中国の設備投資減やグローバル経済の減速を受け2桁減が続きましたが、第3四半期に入り次世代通信規格「5G」関連需要が増加しました。

このような情勢下、当社グループは新たに3車載用電装部品生産ラインを導入し生産力を向上させるとともに営業活動を強化してまいりました。しかしながら第3四半期累計期間では特に期後半より中国経済減速の影響を受け可変抵抗器の需要が減少したことに加え、車載用電装部品についても既存の接触式角度センサや車載用フィルムヒーターが減少したこと、さらに新製品の非接触車載用センサが予想を大きく下回ったことから売上高は6,853百万円（前年同四半期比13.1%減）と大幅な減収となりました。

利益面では固定費の削減に注力しましたが減収の幅に追いつかず、稼働率の低下による生産工場の損益の悪化に加え、期中の円高による海外関係会社の収益の目減りから営業利益は28百万円（前年同四半期比92.6%減）となりました。営業外費用に為替差損52百万円及び移設関連費用47百万円を計上したため、経常損失は76百万円（前年同四半期は414百万円の利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は44百万円（前年同四半期は253百万円の利益）となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 可変抵抗器

中国などの設備投資関連や電源用向けの需要が大きく減少したことに加え、第3四半期に入り大口取引先の在庫調整が始まったことから売上高は2,464百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。減収に伴いセグメント利益（営業利益）は305百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。

② 車載用電装部品

一部製品については中国市場における排ガス規制に対応し大幅な販売増となりましたが、既存の接触式角度センサ及び車載用フィルムヒーターの大幅減に加え、完成車の販売不振により新製品の非接触式車載用センサが予想を大きく下回ったことにより売上高は4,244百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。当セグメントは減価償却費など固定費比率が高く減収の影響を強く受けるため、セグメント利益は131百万円（前年同四半期比52.1%減）となりました。

③ その他

その他部門の売上は、大型設備投資の一巡により設備販売が減少し、144百万円（前年同四半期比39.1%減）となりました。セグメント利益は減収の影響で29百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ336百万円減少し11,765百万円となりました。主な要因は、設備投資に伴い機械装置等固定資産は増加しましたが、設備代金支払い等で現金及び預金が減少し、流動資産その他に含まれる未収入金が減少したことによるものです。負債は前連結会計年度末に比べ230百万円減少し7,805百万円となりました。有利子負債が増加しましたが、未払法人税等・賞与引当金及び流動負債その他に含まれる未払費用が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて106百万円減少し3,960百万円となりました。配当に伴う利益剰余金減少と、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては2019年10月28日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,984,768	1,466,147
受取手形及び売掛金	1,865,391	2,014,160
電子記録債権	721,474	633,677
商品及び製品	461,063	514,958
仕掛品	395,937	389,146
原材料及び貯蔵品	697,271	641,987
その他	306,806	173,747
貸倒引当金	△6,668	△7,776
流動資産合計	6,426,045	5,826,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,347,907	1,303,410
機械装置及び運搬具（純額）	909,155	1,067,363
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	762,749	824,328
有形固定資産合計	4,735,682	4,910,972
無形固定資産	14,066	26,516
投資その他の資産	925,689	1,001,585
固定資産合計	5,675,439	5,939,074
資産合計	12,101,484	11,765,125
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	702,590	653,890
電子記録債務	522,578	531,972
短期借入金	1,417,130	1,736,000
1年内返済予定の長期借入金	784,263	806,218
未払法人税等	165,746	20,813
賞与引当金	155,219	89,606
その他	753,801	519,088
流動負債合計	4,501,330	4,357,590
固定負債		
長期借入金	1,696,130	1,654,130
役員退職慰労引当金	27,070	25,900
退職給付に係る負債	1,179,783	1,174,730
繰延税金負債	—	575
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	316,210	277,318
固定負債合計	3,533,989	3,447,449
負債合計	8,035,320	7,805,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	2,189,118	2,082,820
自己株式	△46,589	△46,770
株主資本合計	3,419,529	3,313,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,548	59,706
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△71,868	△98,477
退職給付に係る調整累計額	△58,563	△48,711
その他の包括利益累計額合計	646,635	647,036
純資産合計	4,066,164	3,960,086
負債純資産合計	12,101,484	11,765,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,886,269	6,853,406
売上原価	6,369,615	5,710,867
売上総利益	1,516,654	1,142,538
販売費及び一般管理費	1,125,905	1,113,684
営業利益	390,748	28,854
営業外収益		
受取利息	1,499	2,396
受取配当金	7,560	7,871
為替差益	57,766	—
補助金収入	5,406	20
その他	30,780	35,155
営業外収益合計	103,012	45,443
営業外費用		
支払利息	22,014	19,375
為替差損	—	52,821
和解費用	21,079	—
移設関連費用	—	47,271
その他	36,072	31,411
営業外費用合計	79,166	150,879
経常利益又は経常損失(△)	414,595	△76,581
特別利益		
固定資産売却益	3,051	504
投資有価証券売却益	—	160
特別利益合計	3,051	665
特別損失		
固定資産除売却損	2,658	99
投資有価証券売却損	—	1,710
事業構造改善費用	26,251	—
特別損失合計	28,909	1,809
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	388,737	△77,725
法人税、住民税及び事業税	112,261	37,508
法人税等調整額	23,304	△70,945
法人税等合計	135,565	△33,436
四半期純利益又は四半期純損失(△)	253,171	△44,288
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	253,171	△44,288

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	253,171	△44,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,266	17,158
為替換算調整勘定	△17,867	△26,608
退職給付に係る調整額	8,145	9,851
その他の包括利益合計	△56,988	401
四半期包括利益	196,183	△43,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,183	△43,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,984,309	4,665,176	7,649,486	236,783	7,886,269	—	7,886,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,984,309	4,665,176	7,649,486	236,783	7,886,269	—	7,886,269
セグメント利益	489,612	273,574	763,187	55,275	818,462	△427,714	390,748

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△427,714千円であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,464,847	4,244,342	6,709,189	144,216	6,853,406	—	6,853,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,464,847	4,244,342	6,709,189	144,216	6,853,406	—	6,853,406
セグメント利益	305,865	131,091	436,957	29,957	466,915	△438,060	28,854

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△438,060千円であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。